

令和元年度
第1回家庭教育支援連絡会会議録

1. 日時

令和元年6月21日（金）午後3時～4時20分

2. 場所

市役所議会棟 4階 第1委員会室

3. 出席委員

水野委員長、眞鍋副委員長、河瀬委員、大田委員、笠間委員、新宮委員
島津委員、岡本委員、原委員、樋口委員、

4. 欠席委員

藤田委員、春日委員

5. 事務局

川原課長、川上、西岡、大西

6. 会議次第

(1) 開会

- ① あいさつ
- ② 自己紹介
- ③ 委員長、副委員長選出（水野委員長・眞鍋副委員長に決定）

(2) 案件

- ① 家庭教育学級について
- ② 寝屋川市家庭教育サポートチームについて
- ③ ねやがわ子どもフォーラムについて
- ④ その他・情報交換

会議録

(1) 開会

青少年課川上より連絡会の概要説明の後、各委員の自己紹介を行った。

(2) 案件

1. 家庭教育学級について

①家庭教育講座

全 24 小学校で開催する。

(講座内容) 家庭での情報モラル、思春期の児童心理、自尊感情の向上、子ども達を取巻く生活状況と課題、家庭でのコミュニケーション等

②おとなのCAP

CAPとは子どもが関わる暴力を防止するための教育プログラムであり、市立小学校3年生と6年生を対象とする。この教育プログラムを保護者に周知するため、大人を対象とした「おとなのCAP」を開催している。今年度も市内6コミセンで各1回ずつ開催する。

③家庭教育支援者スキルアップ講習会

市内の家庭教育支援者、またこれから家庭教育支援者として活動する方を対象に、スキルアップを目的として実施。

(内容) 学校との連携、児童虐待、発達障害、地域連携など

2. 寝屋川市家庭教育サポートチームについて

家庭教育サポーターの活動実績について説明。

今年度も市内24小学校に各1名ずつ、家庭教育サポーターを配置。

3. ねやがわ子どもフォーラムについて

- ・開催概要の説明(開催日:令和2年2月8日(土)、講師等)
- ・家庭教育支援連絡会委員の所属団体にも周知を依頼。

- ・講師選定に係るアンケートの依頼。

4. その他・情報交換

- ・24 小学校において状況が違う。家庭教育サポーターは、配置校が変わると苦勞する事がある。
- ・子育ては時代と共に変わっていく。
- ・家庭に課題がある子どもは、家庭が安定することで安定した学校生活につながりやすい。
- ・授業中に歩き回り、授業参加ができない子についてケース会議などで話し合うが、愛着障害が疑われる。
- ・どこの小学校でも、生徒数が減っているように感じる。
- ・PTA の活動を手伝う人が減り、辞める人が増えている。加入している人の負担が増えている。
- ・家庭教育サポーターが関わる家庭の兄妹関係の学校とも連携がとれば関わりやすくなるのではないか。
- ・こどもセンターでは、10 時～16 時まで、子どもを遊ばせることができるが、ママ友が側におらず、場所の存在を知らない人が多く、こどもセンターの場所を伝える方法に苦慮している。
- ・ネットゲームやユーチューブを見ていて昼夜逆転している子どもが多い。朝、起きられなくて学校に行けない、両親は止められない、約束事ができていない。
- ・保育所で課題を抱えたまま小学校に上がる。世の中には沢山見守ってくれる人達がいる事を知って、つながっていったらと思う。